
第 11 回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会 資料

平成24年 2月9日

委員会資料の構成

第1、2回 委員会(H17.11実施/H18.1.12実施)

- ・神奈川県交通・地域特性の把握
- ・要対策箇所抽出方法

道路利用者へアンケート調査実施

第3回 委員会(H18.3.29実施)

- ・アンケート調査結果の分析
- ・要対策箇所の確定(13地区34箇所)

第4、5回 委員会(H18.9.26実施/H19.3.28実施)

- ・対策の実施状況、整備効果の事例紹介
- ・個別カルテによる渋滞状況・対策の整理

第6、7回 委員会(H20.3.12実施/H21.3.25実施)

- ・要対策箇所の事業進捗状況
- ・広報活動状況について
- ・渋滞対策としての新しい取組み

第8回 委員会(H22.3.2実施)

- ・要対策箇所の事業進捗状況
- ・要対策候補箇所の選定(案)
- ・パブリックコメントの実施(案)
- ・地域が一体となった渋滞対策への取組み

道路利用者へパブリックコメント実施

第9回 委員会(H23.2.28実施)

- ・要対策箇所の対策実施状況のフォローアップ
- ・パブリックコメントの実施結果
- ・新たな要対策箇所の選定

第10回 委員会(H23.10.20実施)

- ・要対策箇所の進捗状況、今後の取り扱い
- ・その他の混雑指摘箇所のスクリーニング方法

今回委員会の審議内容

議題1. 要対策箇所の進捗状況および対策完了箇所の概要

要対策箇所の進捗状況と、H23年度に対策完了した国道409号(競馬場前交差点)の概要を説明します。

議題2. 対策完了箇所の効果検証状況

対策完了箇所の効果検証内容について審議していただきます。

議題3. 要対策候補箇所の評価結果

客観データとH22年度パブコメの混雑実感等に着目した要対策候補箇所の検証結果について審議していただきます。

議題4. その他の混雑指摘箇所のスクリーニング途中経過

渋滞状況の現地確認による分析、検証結果について途中経過の報告を行い、今後の要対策候補箇所の選定に向けた検証方針(案)について審議をしていただきます。

議題5. 今後の取組みについて

今年度の実施結果を踏まえて、「次年度の検討方針(案)」について審議していただきます。

【議題1】

「要対策箇所の進捗状況 および 対策完了箇所の概要」

- 1-1. 要対策箇所の対策進捗状況
- 1-2. 対策完了箇所の概要

1. 要対策箇所の進捗状況 および 対策完了箇所の概要

1-1. 要対策箇所の対策進捗状況

▶ 平成24年1月末時点の進捗状況は、以下に示す通りです。

▶ 今年度は、1箇所が対策完了し、41箇所のうち、4箇所の対策が完了しました。

◎:全ての対策事業が完了した箇所、○:完了した対策事業がある箇所、-:対策事業実施中(または検討中)の箇所

□:既に対策事業が完了した箇所 □:今回対策事業が完了した箇所

対策完了状況	対策箇所	路線名	箇所名	阻害要因	個別対策/面的対策	対策事業	事業者	進捗状況									
								構想	計画	設計	用地	50%未満	50%以上	一部完了	完了		
-	1-1	国道1号	多摩川大橋~下末吉交差点	渋滞	個別対策 面的対策	遠藤町・都町・尻手交差点の交差点改良 川崎1号沿道環境整備(拡幅含む)	横浜国道事務所 横浜国道事務所										
-	1-2	国道1号	浜松町交差点	渋滞	個別対策	戸部拡幅	横浜国道事務所										
-	1-3	国道15号	大黒町入口交差点	渋滞	個別対策	直進車線増設	横浜国道事務所										
◎	1-4	国道15号	栄町交差点	道路構造	個別対策	路面標示・標識	横浜国道事務所										H22.11完了
-	1-5	綱島街道	綱島交差点	渋滞	個別対策 面的対策	子母口綱島拡幅 綱島街道拡幅 宮内新横浜線整備	横浜市 横浜市 横浜市										
-	1-6	綱島街道	大豆戸交差点	渋滞	個別対策 面的対策	綱島街道拡幅 宮内新横浜線整備	横浜市 横浜市										
-	1-7	産業道路	京急大師線踏切付近	道路構造	個別対策	京急大師連続立体交差	川崎市										
-	1-8	新横浜通り	浅間下交差点~岡野交差点	渋滞	個別対策	浅間下交差点改良	横浜市										
○	1-9	国道1号	保土ヶ谷橋交差点	渋滞	個別対策	国道1号改築 保土ヶ谷橋現道拡幅	横浜市 横浜市										H21.7完了
-	1-10	国道1号	不動坂交差点	渋滞	個別対策 面的対策	交差点改良 都計道整備	横浜市 横浜市										
○	2-1	国道16号	青砥交差点~杉田交差点	渋滞	個別対策 面的対策	杉田交差点改良 八幡橋バスベイ拡幅 屏風ヶ浦交差点右折車線増設	横浜国道事務所 横浜国道事務所 横浜国道事務所										H19.8完了
-	3-1	国道16号	吉倉町~追浜町	道路構造	個別対策	横須賀地区トンネル改修	横浜国道事務所										
-	3-2	三崎街道	衣笠十字路交差点	渋滞	面的対策	道路新設	神奈川県										
○	4-1	国道1号	原宿交差点	渋滞	個別対策 面的対策	原宿交差点改良 横浜湘南道路新設 横浜環状南線新設	横浜国道事務所 横浜国道事務所 横浜国道事務所										H22.12完了
○	5-1	国道1号	工業団地入口交差点	渋滞	面的対策	新湘南BP(Ⅱ期区間)新設 湘南大橋車線拡幅	横浜国道事務所 神奈川県										H22.3完了
○	6-1	国道246号	新石川交差点~江田駅東交差点 ~市ヶ尾交差点	渋滞	個別対策	新石川交差点立体化 江田駅東交差点対策(右折レーン延伸)	川崎国道事務所 川崎国道事務所										H20.3完了
-	7-1	国道246号	市役所入口交差点~桜坂交差点	渋滞	面的対策	厚木秦野道路新設	横浜国道事務所										
-	8-1	国道409号	京急大師線踏切付近	渋滞	個別対策	京急大師連続立体交差	川崎市										
-	9-1	国道16号	梅の木交差点	渋滞	個別対策	バスベイ設置	横浜国道事務所										
-	9-2	国道16号	東名横浜町田IC付近	渋滞	個別対策	横浜町田立体	川崎国道事務所										
-	10-1	国道16号	鶴野森交差点~若松2丁目交差点	渋滞	面的対策	さがみ縦貫新設	相武・横浜国道事務所										

1. 要対策箇所の進捗状況 および 対策完了箇所の概要

◎:全ての対策事業が完了した箇所、○:完了した対策事業がある箇所、-:対策事業実施中(または検討中)の箇所

□:既に対策事業が完了した箇所 □:今回対策事業が完了した箇所

対策完了状況	対策箇所	路線名	箇所名	阻害要因	個別対策/面的対策	対策事業	事業者	進捗状況							
								構想	計画	設計	用地	50%未満	50%以上	一部完了	完了
-	11-1	国道246号	金田交差点~文化会館入口交差点	渋滞	面的対策	さがみ縦貫新設 厚木秦野道路新設	相武・横浜国道事務所 横浜国道事務所								
-	11-2	国道129号	国道246号交点~船子北谷交差点	渋滞	面的対策	さがみ縦貫新設 厚木秦野道路新設	相武・横浜国道事務所 横浜国道事務所								
-	11-3	厚木街道	相模大橋東交差点	渋滞	面的対策	さがみ縦貫新設	相武・横浜国道事務所								
○	12-1	環状4号	笠間交差点	渋滞	個別対策 面的対策	県道拡幅 交差点整備 横浜環状南線新設および関連整備	横浜市 横浜市 横浜国道事務所								H18.3完了
◎	13-1	国道1号	宮ノ下交差点	渋滞	面的対策	箱根新道無料化	横浜国道事務所								H23.7完了
-	13-2	国道135号	石橋IC(西湘BP)~早川口交差点	渋滞	面的対策	道路新設(西湘ハイパス延伸) 国道135号改良	未定 神奈川県								
-	13-3	国道255号	飯泉入口交差点	渋滞	面的対策	城山曾比線の道路新設 小田原山北線の道路新設	神奈川県 神奈川県								
◎	14	国道20号	与瀬~吉野(通行止規制区間)	自然災害	個別対策	防災工事	相武国道事務所								H23.3完了
-	15	国道20号	藤野町中心部(吉野~小淵)	道路構造	個別対策	吉野地区道路整備(歩道設置・線形改良) 小淵区道路整備(歩道設置・線形改良)	相武国道事務所 相武国道事務所								
-	16	藤沢街道	光ヶ丘交差点	渋滞	面的対策	さがみ縦貫新設	相武・横浜国道事務所								
○	17	藤沢街道	桜ヶ丘交差点	渋滞	個別対策 面的対策	現道拡幅 現道拡幅・道路新設 さがみ縦貫新設	神奈川県 神奈川県 相武・横浜国道事務所								H20.3完了
-	18	横浜伊勢原線	用田交差点	渋滞	面的対策	現道拡幅・車線整備	神奈川県								
-	19	国道246号	向原	道路構造	個別対策	向原改良(線形改善・拡幅・歩道新設)	横浜国道事務所								
-	20	国道1号	JR戸塚駅	渋滞	個別対策 面的対策	都市計画道路柏尾戸塚線新設 桂町戸塚遠藤線新設	横浜市 横浜市								
-	21	津久井道	川崎市麻生区内	渋滞	個別対策	都市計画道路世田谷町田線新設	川崎市								
◎	22	国道409号	競馬場前交差点	渋滞	個別対策	現道拡幅(1車線増設)	川崎市								H23.12完了
-	23	国道134号	唐ヶ原交差点~扇の松交差点	渋滞	個別対策 面的対策	国道134号拡幅 新湘南BP(Ⅱ期区間)新設	神奈川県 横浜国道事務所								
-	24	環状4号	海軍道路入口交差点	渋滞	個別対策	現道拡幅(4車線化)	横浜市								
-	25	国道129号	戸田交差点	渋滞	個別対策 面的対策	戸田立体 さがみ縦貫新設	神奈川県 相武・横浜国道事務所								
-	26	国道16号	橋本小学校入口交差点	渋滞	面的対策	さがみ縦貫新設	相武・横浜国道事務所								

進捗状況 (各段階) の定義

調査・計画段階(構想)	対策実施を検討しているが、まだ構想段階で対策の実施が未決定である段階
調査・計画段階(計画)	対策実施は決定しているが、対策内容の詳細は未決定である段階
調査・計画段階(測量調査・設計)	対策内容がほぼ決まっており、対策を行うための測量調査・設計を行っている段階
実施段階(用地測量・買収)	測量調査・設計は完了し、用地買収のための用地測量or用地買収を実施している段階
実施段階(施工中一進捗率50%未満)	施工中(進捗率が50%未満)の段階
実施段階(施工中一進捗率50%以上)	施工中(進捗率が50%以上)の段階
実施段階(一部供用・暫定供用)	暫定供用、一部区間の供用を開始など、対策は完了していないが、一部完了している段階
対策完了	対策が完了している段階

1. 要対策箇所の進捗状況 および 対策完了箇所の概要

1-2. 対策完了の概要: 国道409号(競馬場前交差点)～対策工の内容について～

- ▶ 本町交差点～競馬場前交差点間の上り方面を2車線に拡幅したことで、渋滞緩和が期待されます。
- ▶ 今後は、交通データ等を収集・整理し、対策案の効果検証を実施する予定です。

対策箇所	路線名	箇所名	阻害要因	個別対策/面的対策	対策事業	進捗状況								
						構想	計画	設計	用地	50%未満	50%以上	一部完了	完了	
22	国道409号	競馬場前交差点	渋滞	個別対策	車線増設(車線運用の変更)									H23.12完了

○概要

競馬場前交差点は、幹線道路同士の交差点で交通が集中するとともに、国道409号の上り車線が、競馬場前交差点手間で、2車線から1車線に車線減少するため、渋滞が発生していました。

対策としては、国道409号の本町～競馬場前交差点の車線運用の変更が挙げられ、上り方面を2車線確保する工事が平成23年12月に完成しました。

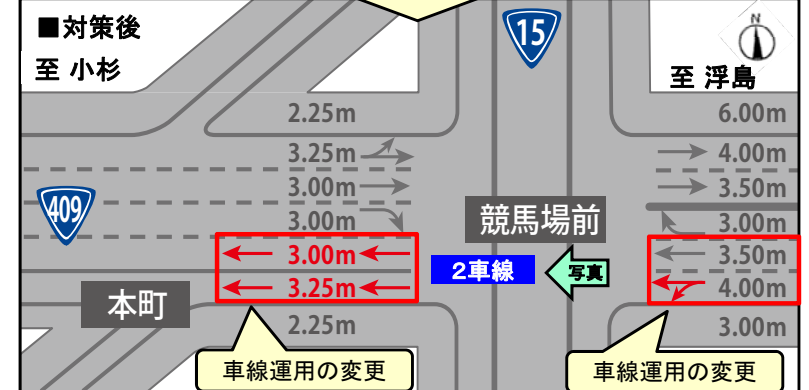
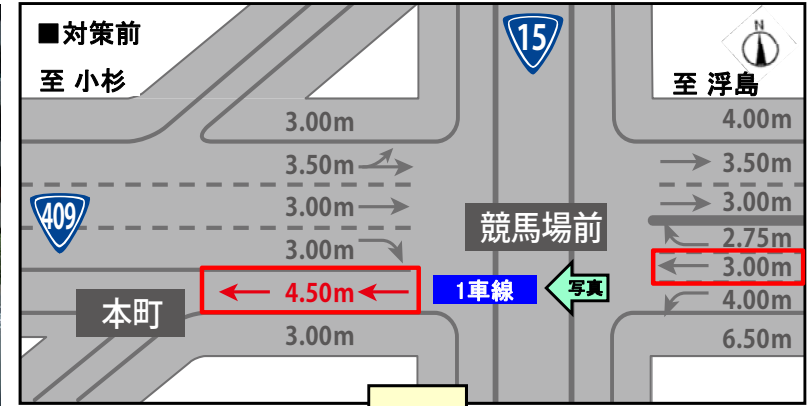
○車線運用の変更

○位置



○事業の経緯

- 平成19年度 : 調査開始
- 平成20年度 : 地元説明会を実施
- 平成21年度 : 県警協議完了
- 平成22年度 : 電柱等専用物件移設工事に着手
- 平成23年12月: 工事了



【議題2】

「対策完了箇所の効果検証状況」

2-1. 対策完了箇所の効果検証状況

2. 対策完了箇所の効果検証状況

2-1. 対策完了箇所の効果検証状況

- ▶ 対策完了箇所の効果検証方法について提案します。
- ▶ 対策完了箇所は、次年度以降に、交通量調査等の各種調査を実施し、効果検証を実施する予定です。
- ▶ 対策完了箇所ではないが、個別対策が全て完了した、国道1号(原宿交差点)は、平成23年12月に取得した、供用1年後の交通データを整理中です。

■対策完了箇所(◎)の効果検証予定

箇所番号	路線名	交差点名	阻害要因	経過時間	効果検証(調査、検証時期)			備考
					渋滞	道路構造	自然災害	
1-4	国道15号	栄町交差点	道路構造	1年2ヶ月	平成24年度アンケート調査	—	—	H22. 11完了
13-1	国道1号	宮ノ下交差点	渋滞	6ヶ月	平成24年度交通データ取得(民プロ等)	—	—	H23. 7完了
14	国道20号	与瀬～吉野	自然災害	10ヶ月	—	—	3年間観察中	H23. 3完了
22	国道409号	競馬場前交差点	渋滞	—	平成24年2月交通量調査実施(予定)	—	—	H23. 12完了

■個別対策完了箇所(○)の効果検証予定

箇所番号	路線名	交差点名	阻害要因	経過時間	効果検証(調査、検証時期)			備考
					渋滞	道路構造	自然災害	
4-1	国道1号	原宿交差点	渋滞	1年1ヶ月	1ヶ月後、3ヶ月後、1年後	—	—	H22. 12完了

【議題3】

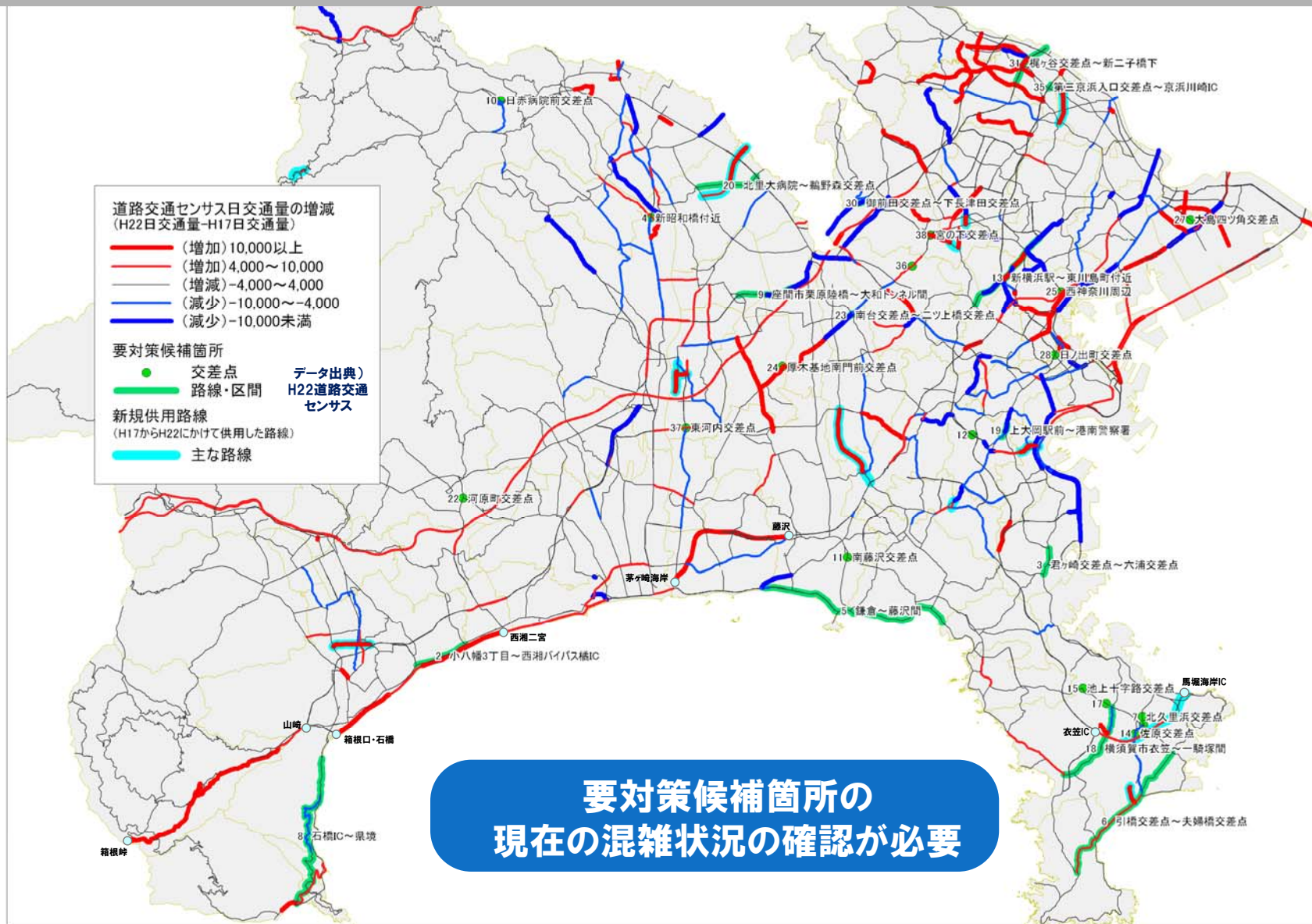
要対策候補箇所の評価結果

- 3-1. 要対策候補箇所(31箇所)の概要
- 3-2. 要対策候補箇所の検証方針
- 3-3. アンケート結果による対策必要性
- 3-4. 交通データおよび現地確認による渋滞判定
- 3-5. 対策必要性と渋滞判定のタイプ分類
- 3-6. タイプ分類別の評価方針
- 3-7. 道路・交通状況を踏まえたタイプ別評価
- 3-8. 要対策候補箇所の今後の取り扱い(案)

3. 要対策候補箇所の評価結果

3. 道路・交通状況の把握 [交通量の変動(H17、H22時点比較)]

H17からH22にかけて道路事業が進展し、新たに供用された路線などの影響により交通量の増減が生じています。要対策候補箇所においても交通特性の変化が生じていることが想定されます。



3. 要対策候補箇所の評価結果

3. 要対策候補箇所(31箇所)の論点

要対策候補箇所について

- ▶ アンケート結果、最新の交通データ、現地確認結果により、混雑状況の確認をしました。
- ▶ その結果を踏まえて、今後の取り扱いを審議していただきます。

対策必要性に関する「アンケート結果」を整理しました。

- H22アンケートの結果、要対策候補箇所のうち、対策の必要性が低い、渋滞していないとの意見が寄せられる交差点がありました。
- 対策の必要性を指数化して整理しました。

最新の渋滞状況を整理しました。

- H22VICSデータおよびH22民間プローブデータによる混雑発生表示頻度※(交通データ)をもとに渋滞状況を整理しました。
- 渋滞の状況を現地確認しました。

※)参考資料2に混雑発生表示頻度の説明を記載

渋滞程度が小さい箇所について、理由を分析しました。

- 現地の特徴をふまえ、対策の必要性について、考察しました。
- 交通量の経年変化等から、箇所毎の状況を考察しました。



上記の結果から、要対策候補箇所の取り扱いについて、審議していただきます。

3. 要対策候補箇所の評価結果

3-1. 要対策候補箇所(31箇所)の概要

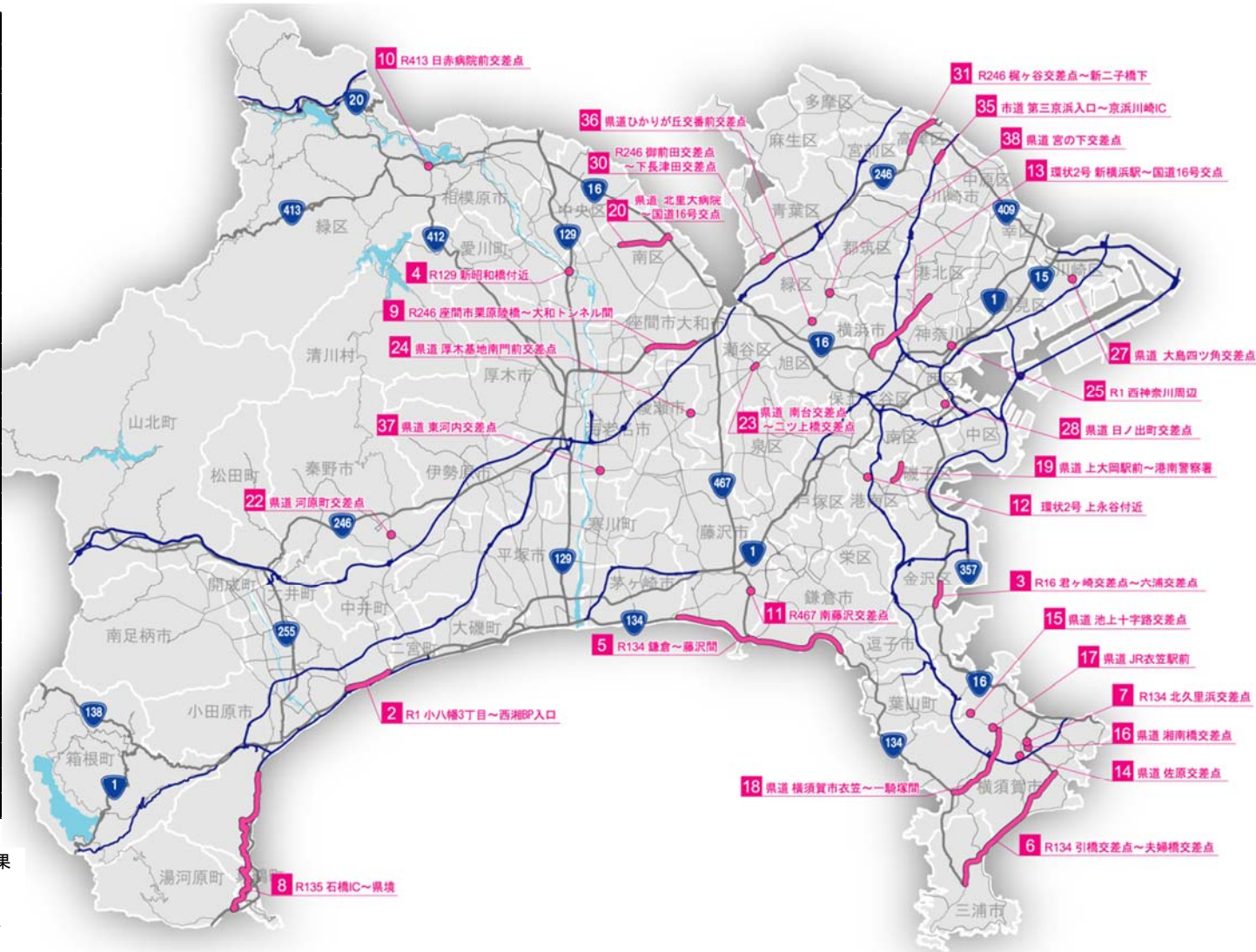
要対策候補箇所は、平成17年度アンケートおよび平成20年度VICSデータをもとに選定されています。

No	渋滞路線名	渋滞対策箇所・区間名
2	国道1号	小八幡3丁目～西湘バイパス橋IC
3	国道16号	君ヶ崎交差点～六浦交差点
4	国道129号	新昭和橋付近
5	国道134号	鎌倉～藤沢間
6	国道134号	引橋交差点～夫婦橋交差点
7	国道134号	北久里浜交差点
8	国道135号	石橋IC～県境
9	国道246号	座間市栗原陸橋～大和トンネル間
10	国道413号	日赤病院前交差点
11	国道467号	南藤沢交差点
12	環状2号線	上永谷付近
13	環状2号線	新横浜駅～東川島町付近
14	横須賀葉山線	佐原交差点
15	横須賀葉山線	池上十字路交差点
16	横須賀葉山線	湘南橋交差点
17	横須賀葉山線	JR衣笠駅前
18	横須賀三崎線	横須賀市衣笠～一騎塚間
19	横浜鎌倉線	上大岡駅前～港南警察署
20	相模原町田線	北里大病院～鶴野森交差点
22	秦野二宮線	河原町交差点
23	丸子中山茅ヶ崎線	南台交差点～二ツ上橋交差点
24	丸子中山茅ヶ崎線	厚木基地南門前交差点
25	国道1号・横浜上麻生線	西神奈川周辺
27	新川通	大島四ツ角交差点
28	平戸桜木道路	日ノ出町交差点
30	国道246号	御前田交差点～下長津田交差点
31	国道246号	梶ヶ谷交差点～新二子橋下
35	市道	第三京浜入口交差点～京浜川崎IC
36	中原街道	ひかりが丘交番前交差点
37	横浜伊勢原線	東河内交差点
38	中原街道	宮の下交差点

※欠番は、要対策箇所へ選定された箇所

2 ～ 24 前回の道路利用者アンケート（平成17年度実施）結果から選定

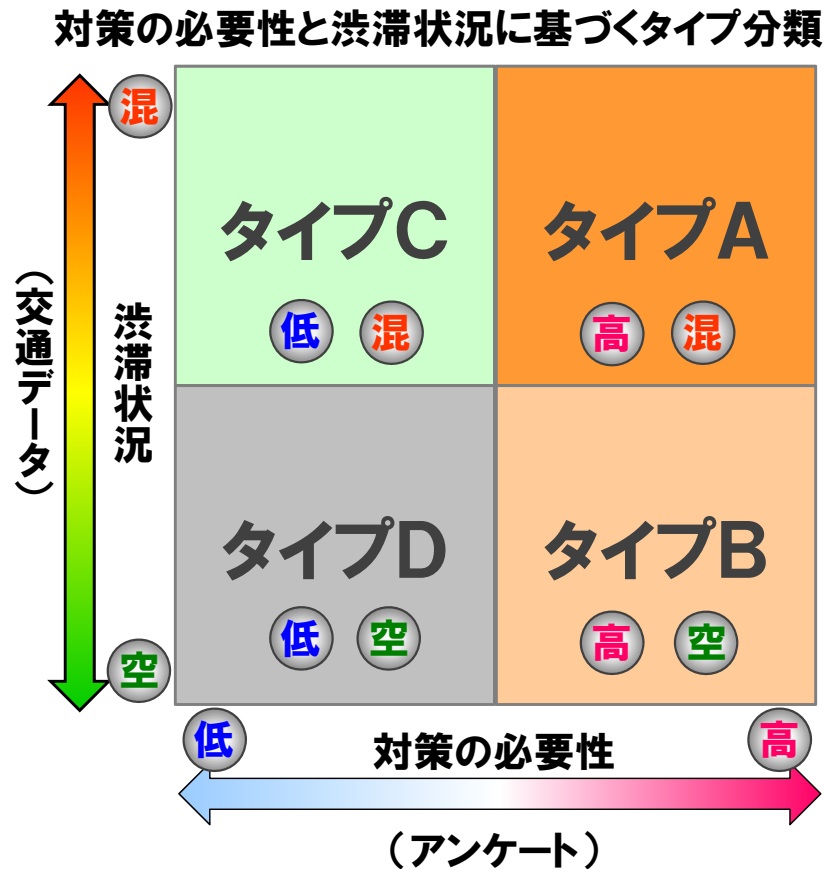
25 ～ 38 交通データの分析結果（平成20年度実施）をもとに、平日休日のいずれかで混雑が著しい箇所を選定



3. 要対策候補箇所の評価結果

3-2. 要対策候補箇所の検証方針

- ▶ アンケート意見(H17)やVICSデータ(H20)により選定した箇所(要対策候補箇所)について、最新の交通データとアンケートに基づく対策の必要性をもとにタイプ分類を行います。
その結果を基に、**交通特性の変化**や**現地での渋滞状況**を確認することにより、各タイプの特徴を整理します。



分類	タイプの組み合わせ
タイプA	対策ニーズ高い × 渋滞あり 高 混
タイプB	対策ニーズ高い × 渋滞なし 高 空
タイプC	対策ニーズ低い × 渋滞あり 低 混
タイプD	対策ニーズ低い × 渋滞なし 低 空

3. 要対策候補箇所の評価結果

3-3. アンケート結果による対策必要性

- ▶ 昨年度実施したアンケートで意見を募った要対策候補箇所の「対策の必要性」についてとりまとめました。
- ▶ 箇所毎の意見を指数化(プラス:対策必要、マイナス:対策不要)して、整理しました。
- ▶ その結果、**対策不要意見が優勢となる箇所が8箇所**ありました。

■要対策候補箇所の対策の必要性指数の算定結果

No	渋滞路線名	渋滞対策箇所・区間名	対策の必要性指数
8	国道135号	石橋IC～県境	1.51
11	国道467号	南藤沢交差点	1.47
20	相模原町田線	北里大病院～鶴野森交差点	1.34
9	国道246号	座間市栗原陸橋～大和トンネル間	1.31
31	国道246号	梶ヶ谷交差点～新二子橋下	1.24
5	国道134号	鎌倉～藤沢間	1.10
17	横須賀葉山線	JR衣笠駅前	1.02
10	国道413号	日赤病院前交差点	1.01
19	横浜鎌倉線	上大岡駅前～港南警察署	0.97
30	国道246号	御前田交差点～下長津田交差点	0.93
18	横須賀三崎線	横須賀市衣笠～一騎塚間	0.83
35	第三京浜道路	第三京浜入口交差点～京浜川崎IC	0.80
37	横浜伊勢原線	東河内交差点	0.78
38	中原街道	宮の下交差点	0.77
15	横須賀葉山線	池上十字路交差点	0.71
23	丸子中山茅ヶ崎線	南台交差点～二ツ上橋交差点	0.62
22	秦野二宮線	河原町交差点	0.51
3	国道16号	君ヶ崎交差点～六浦交差点	0.28
2	国道1号	小八幡3丁目～西湘バイパス橋IC	0.24
13	環状2号線	新横浜駅～東川島町付近	0.23
12	環状2号線	上永谷付近	0.22
24	丸子中山茅ヶ崎線	厚木基地南門前交差点	0.22
6	国道134号	引橋交差点～夫婦橋交差点	0.13
25	国道1号・横浜上麻生線	西神奈川周辺	-0.05
36	中原街道	ひかりが丘交番前交差点	-0.14
4	国道129号	新昭和橋付近	-0.19
28	平戸桜木道路	日ノ出町交差点	-0.30
14	横須賀葉山線	佐原交差点	-0.36
7	国道134号	北久里浜交差点	-0.43
16	横須賀葉山線	湘南橋交差点	-0.51
27	新川通	大島四ツ角交差点	-0.98

※欠番は、要対策箇所へ選定された箇所

■指数の算定方法

【対策の必要性指数】

一般回答者、交通事業者のそれぞれについて算定し、足し合わせて指数化

(指数化の考え方)

- [1. 早急な対策が必要(%)] × (+1.0)
- [2. 早急ではないが対策が必要(%)] × (+0.5)
- [3. 対策は必要ない(%)] × (-1.5)

合計0になるよう重み付け

●計算例(国道134号 石橋IC～県境)

	一般回答者	交通事業者
1. 早急な対策が必要	64%	65%
2. 早急ではないが対策が必要	29%	35%
3. 対策は必要ない	7%	0%
一般	0.64 × (+1.0) + 0.29 × (+0.5) + 0.07 × (-1.5) = 0.68	
交通	0.65 × (+1.0) + 0.35 × (+0.5) + 0.00 × (-1.5) = 0.83	
【対策の必要性指数】	= 1.51	

指数がマイナスとなり対策不要の可能性あり

3. 要対策候補箇所の評価結果

3-4. 交通データおよび現地確認による渋滞判定

要対策候補箇所について、対策の必要性指数と、交通データ、現地確認(目視による渋滞確認)を比較した結果、各項目は概ね一致していましたが、一部の箇所で違いが見られました。

No	渋滞路線名	渋滞対策箇所・区間名	対策の 必要性指数	最新の 交通データ	現地の渋滞状況
				混雑発生表示頻度 H22 (%)*1	渋滞規模 H23
8	国道135号	石橋IC～県境	1.51	31%	1500～2000m
11	国道467号	南藤沢交差点	1.47	73%	500m未満
20	相模原町田線	北里大病院～鶴野森交差点	1.34	85%	500m未満
9	国道246号	座間市栗原陸橋～大和トンネル間	1.31	100%	1500～2000m
31	国道246号	梶ヶ谷交差点～新二子橋下	1.24	100%	1500～2000m
5	国道134号	鎌倉～藤沢間	1.10	52%	500m未満
17	横須賀葉山線	JR衣笠駅前	1.02	12%	渋滞なし
10	国道413号	日赤病院前交差点	1.01	20%	500～1000m
19	横浜鎌倉線	上大岡駅前～港南警察署	0.97	39%	渋滞なし
30	国道246号	御前田交差点～下長津田交差点	0.93	100%	500m未満
18	横須賀三崎線	横須賀市衣笠～一騎塚間	0.83	52%	500m未満
35	第三京浜道路	第三京浜入口交差点～京浜川崎IC	0.80	30%	500m未満
37	横浜伊勢原線	東河内交差点	0.78	91%	1000～1500m
38	中原街道	宮の下交差点	0.77	99%	500m未満
15	横須賀葉山線	池上十字路交差点	0.71	24%	渋滞なし
23	丸子中山茅ヶ崎線	南台交差点～二ツ上橋交差点	0.62	93%	500m未満
22	秦野二宮線	河原町交差点	0.51	84%	500m未満
3	国道16号	君ヶ崎交差点～六浦交差点	0.28	66%	500～1000m
2	国道1号	小八幡3丁目～西湘バイパス橋IC	0.24	28%	1500～2000m
13	環状2号線	新横浜駅～東川島町付近	0.23	77%	500m未満
12	環状2号線	上永谷付近	0.22	53%	渋滞なし
24	丸子中山茅ヶ崎線	厚木基地南門前交差点	0.22	27%	500m未満
6	国道134号	引橋交差点～夫婦橋交差点	0.13	41%	渋滞なし
25	国道1号・横浜上麻生線	西神奈川周辺	-0.05	45%	渋滞なし
36	中原街道	ひかりが丘交番前交差点	-0.14	63%	渋滞なし
4	国道129号	新昭和橋付近	-0.19	20%	渋滞なし
28	平戸桜木道路	日ノ出町交差点	-0.30	99%	渋滞なし
14	横須賀葉山線	佐原交差点	-0.36	13%	渋滞なし
7	国道134号	北久里浜交差点	-0.43	32%	渋滞なし
16	横須賀葉山線	湘南橋交差点	-0.51	11%	渋滞なし
27	新川通	大島四ツ角交差点	-0.98	83%	渋滞なし

✓対策のニーズはあるが、交通データ・現地状況ともに渋滞が確認できなかった

✓対策のニーズはないが、交通データは混雑を表示しているが、現地も渋滞は確認できなかった

※欠番は、要対策箇所へ選定された箇所

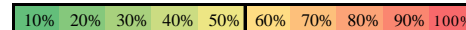
□ H17道路利用者アンケートから抽出された箇所

■ H20VICSデータから抽出された箇所

*1) 混雑発生表示頻度 [%]

*2) 交通データの判定…混雑発生頻度が、●混雑多発(50%)以上は渋滞

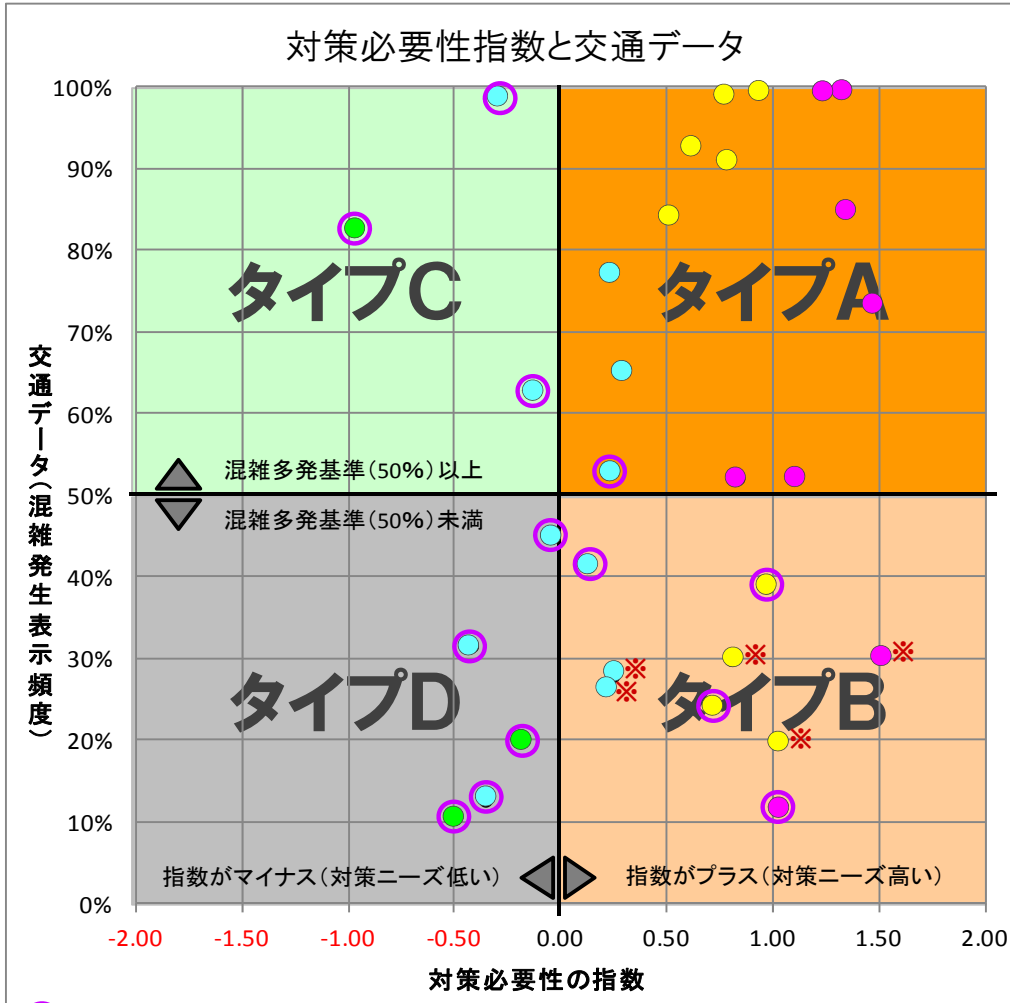
渋滞なし ← ← 渋滞度合いイメージ → → 常時渋滞



3. 要対策候補箇所の評価結果

3-5. 対策必要性と渋滞判定のタイプ分類結果

- ▶ 必要性指数、交通データ、現地確認結果を以下A~Dの4タイプに整理しました。
- ▶ このうち、**タイプB・タイプC**は、対策ニーズと交通データ・現地状況に**実感差**が発生しています。
- ▶ なお、タイプBのうち、現地で渋滞が確認された箇所は、「渋滞あり」と判断し、タイプAに再分類します。



○ 現地で渋滞していなかった箇所
 ※タイプBのうち、現地で渋滞状況が確認された箇所は、タイプAに分類

混雑の実感指数ランク
 ~1.0 (purple) 1.0~0.5 (yellow) 0.5~0.0 (cyan) 0.0~ (green)

分類	分類タイプの特徴
タイプA	対策ニーズ高い × 渋滞あり (対策必要性指数がプラス × 混雑発生表示頻度50%以上) ✓ 要対策候補としての課題が明確
タイプB	対策ニーズ高い × 渋滞なし (対策必要性指数がプラス × 混雑発生表示頻度50%未満) ✓ 渋滞状況と必要性意見に実感差があり、意見が多い理由を検証
タイプC	対策ニーズ低い × 渋滞あり (対策必要性指数がマイナス × 混雑発生表示頻度50%以上) ✓ 交通データを踏まえ、現地での渋滞発生状況を検証
タイプD	対策ニーズ低い × 渋滞なし (対策必要性指数がマイナス × 混雑発生表示頻度50%未満) ✓ 移動性課題が無く、要対策候補箇所からの除外を検証

【混雑の実感指数】
 一般回答者、交通事業者のそれぞれについて算定し、足し合わせて指数化

- (指数化の考え方)
- [1. 混雑を強く感じる(%)] × (+1.0)
 - [2. 混雑を感じる(%)] × (+0.5)
 - [3. 混雑をあまり感じない(%)] × (-0.5)
 - [4. 混雑を全く感じない(%)] × (-1.0)

合計0になるよう重み付け

3. 要対策候補箇所の評価結果

3-6. タイプ分類別の評価方針

- ▶ 要対策候補箇所の、タイプB, C, Dについて、個別に分析を行いました。
- ▶ 分析の視点
 - 現地確認による、渋滞発生の有無および対策必要課題の有無から考察
 - アンケート(H17)からの経過年数を考慮して、道路・交通状況の変化から考察

※混雑発生表示頻度は50%未満で、現地で渋滞が確認された箇所は「渋滞あり」と判断し再分類 (*タイプB→タイプAに再分類し、A' と表記)

タイプ分類別の評価方針

要対策候補箇所として、引き続きモニタリングを継続

何故アンケート意見が多いのか
個別の移動性課題の有無を検証

何故混雑発生表示頻度が高いのか
交差点での渋滞発生状況を検証

アンケート実施(H17)から6年の経年変化について
道路網状況と交通量の変動を検証

No	渋滞路線名	渋滞対策箇所・区間名	タイプ分類	対策ニーズの有無		渋滞の有無	
				対策の必要性指数	混雑発生表示頻度	渋滞確認	
8	国道135号	石橋IC～県境	A'	1.51	31%	1500～2000m*	
11	国道467号	南藤沢交差点	A'	1.47	73%	500m未満	
20	相模原町田線	北里大病院～鶴野森交差点	A'	1.34	85%	500m未満	
9	国道246号	座間市栗原陸橋～大和トンネル間	A'	1.31	100%	1500～2000m	
31	国道246号	梶ヶ谷交差点～新二子橋下	A'	1.24	100%	1500～2000m	
5	国道134号	鎌倉～藤沢間	A'	1.10	52%	500m未満	
10	国道413号	日赤病院前交差点	A'	1.01	20%	500～1000m *	
30	国道246号	御前田交差点～下長津田交差点	A'	0.93	100%	500m未満	
18	横須賀三崎線	横須賀市衣笠～一騎塚間	A'	0.83	52%	500m未満	
35	市道	第三京浜入口交差点～京浜川崎IC	A'	0.80	30%	500m未満 *	
37	横浜伊勢原線	東河内交差点	A'	0.78	91%	1000～1500m	
38	中原街道	宮の下交差点	A'	0.77	99%	500m未満	
23	丸子中山茅ヶ崎線	南台交差点～二ツ上橋交差点	A'	0.62	93%	500m未満	
22	秦野二宮線	河原町交差点	A'	0.51	84%	500m未満	
3	国道16号	君ヶ崎交差点～六浦交差点	A'	0.28	66%	500～1000m	
2	国道1号	小八幡3丁目～西湖バイパス橋IC	A'	0.24	28%	1500～2000m*	
13	環状2号線	新横浜駅～東川島町付近	A'	0.23	77%	500m未満	
24	丸子中山茅ヶ崎線	厚木基地南門前交差点	A'	0.22	27%	500m未満 *	
12	環状2号線	上永谷付近	A'	0.22	53%	渋滞なし	
17	横須賀葉山線	JR衣笠駅前	B	1.02	12%	渋滞なし	
19	横浜鎌倉線	上大岡駅前～港南警察署	B	0.97	39%	渋滞なし	
15	横須賀葉山線	池上十字路交差点	B	0.71	24%	渋滞なし	
6	国道134号	引橋交差点～夫婦橋交差点	B	0.13	41%	渋滞なし	
36	中原街道	ひかりが丘交番前交差点	C	-0.14	63%	渋滞なし	
28	平戸桜木道路	日ノ出町交差点	C	-0.30	99%	渋滞なし	
27	新川通	大島四ツ角交差点	C	-0.98	83%	渋滞なし	
25	国道1号・横浜上麻生線	西神奈川周辺	D	-0.05	45%	渋滞なし	
4	国道129号	新昭和橋付近	D	-0.19	20%	渋滞なし	
14	横須賀葉山線	佐原交差点	D	-0.36	13%	渋滞なし	
7	国道134号	北久里浜交差点	D	-0.43	32%	渋滞なし	
16	横須賀葉山線	湘南橋交差点	D	-0.51	11%	渋滞なし	

※欠番は、要対策箇所へ選定された箇所

□ H17道路利用者アンケートから抽出された箇所

□ H20VICSデータから抽出された箇所

3. 要対策候補箇所の評価結果

3-7. 道路・交通状況を踏まえたタイプ別評価（タイプB）

▶ 個別箇所の「意見分析、現地確認」した結果、**対策必要性が高い理由として、交通課題改善を望む声（路上駐車対策、商業施設周辺での阻害要因の解消等）が多いことを確認しました。**

タイプB

対策ニーズ高い
渋滞なし/低

No	路線名	区間名	交通データ・現地調査から見た阻害要因	評価結果
17	横須賀葉山線	JR衣笠駅前	✓ 著しい渋滞は発生していないが、JR衣笠駅前商店街付近のため、 買い物客による路上駐車 （阻害要因）が断続的な速度低下を誘発	✓ 現地調査及びアンケートにおいて、路上駐車による交通阻害が確認された。 ✓ また、本箇所の周辺では、（都）久里浜田浦線の整備を進めており、供用後の状況把握を行う等、引き続き検討が必要
19	横浜鎌倉線	上大岡駅前～港南警察署	✓ 主要なバス路線であるが、 バス滞留スペースが無いことや駐停車車両が走行性阻害要因 ✓ 著しい渋滞は発生していない	✓ 路上駐車対策に関する意見が多数であり、沿道の駐車対策が必要
15	横須賀葉山線	池上十字路交差点	✓ 歩行者が多いものの、スクランブル交差点となっているため阻害要因は見られない	✓ 現地調査では阻害要因が見られなかったものの、アンケートでは、 代替路線確保の声が多く 、本箇所の周辺で整備を進めている（都）久里浜田浦線の供用後の状況把握を行う等、引き続き検討が必要
06	国道134号	引橋交差点～夫婦橋交差点	✓ 現地調査ではスムーズに流れており、 道路構造上の阻害要因も見られない	✓ 現地調査では阻害要因が見られなかったものの、アンケートでは、 夏期の観光シーズン等に混雑するとの声が多く 、今後も引き続き検討が必要

参考事例	
17	横須賀葉山線 JR衣笠駅前



② 衣笠商店街前の駐停車車両



① 衣笠駅前の有料駐車場

【アンケート意見】
 ✓ 路上駐車対策を望む声（64%：138件中88件）
 （アンケートの主な意見）
 ➢ 商店街の路上駐車対策が必要。
 ➢ 駐車場の無料化。
 ➢ 路肩への駐車禁止の徹底。

衣笠駅前広場内には駐車場が設置され、商店街での買い物時の割引サービスが受けられる

商店街前のため、路上での駐停車が多い

評価結果

- 渋滞以外の移動性阻害課題があることから、**今後も要対策候補箇所に位置づける**
- 交通状況の推移を継続して観察、各道路管理者にて、**原因調査**

3. 要対策候補箇所の評価結果

3-6. 道路・交通状況を踏まえたタイプ別評価（タイプC）

交通データ(混雑発生表示頻度)は高いが、対策の必要性指数が低い3箇所について、現地調査を行った結果、信号待ちによる滞留は確認されるものの渋滞発生現象※は確認されませんでした。

※ 1回の信号で処理出来ずに長い待ち行列が発生する状態

タイプC

対策ニーズ低い
渋滞あり/高

参考事例

28 新川通
大島四ツ角交差点

No	路線名	区間名	交通データ・現地調査から見た阻害要因	評価結果
36	中原街道	ひかりが丘交番前交差点	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 道路線形上は縦断勾配がきつく発信遅れの現象も懸念されるが、渋滞長も短くスムーズに流れている ✓ 現地では渋滞は見られない 	✓ 信号待ちによる滞留は確認されたが、渋滞は確認されず対策の必要性はない
28	平戸桜木道路	日ノ出町交差点	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 流入交通量が多いものの、現地では渋滞は見られない ✓ 交差点での錯綜交通の整流化を狙った方面別に路面着色対策は実施済み 	✓ 信号待ちによる滞留は確認されたが、渋滞は確認されず対策の必要性はない
27	新川通	大島四ツ角交差点	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スムーズに流れており、道路構造上の阻害要因も見られない ✓ 現地では渋滞は見られない 	✓ 信号待ちによる滞留は確認されたが、渋滞は確認されず対策の必要性はない



① 大島四ツ角:大師大島線



② 大島四ツ角:新川通り



評価結果

● 信号待ちによる滞留は確認されたが、渋滞は確認されず、道路利用者の意見も少ないため、対策の必要性はない

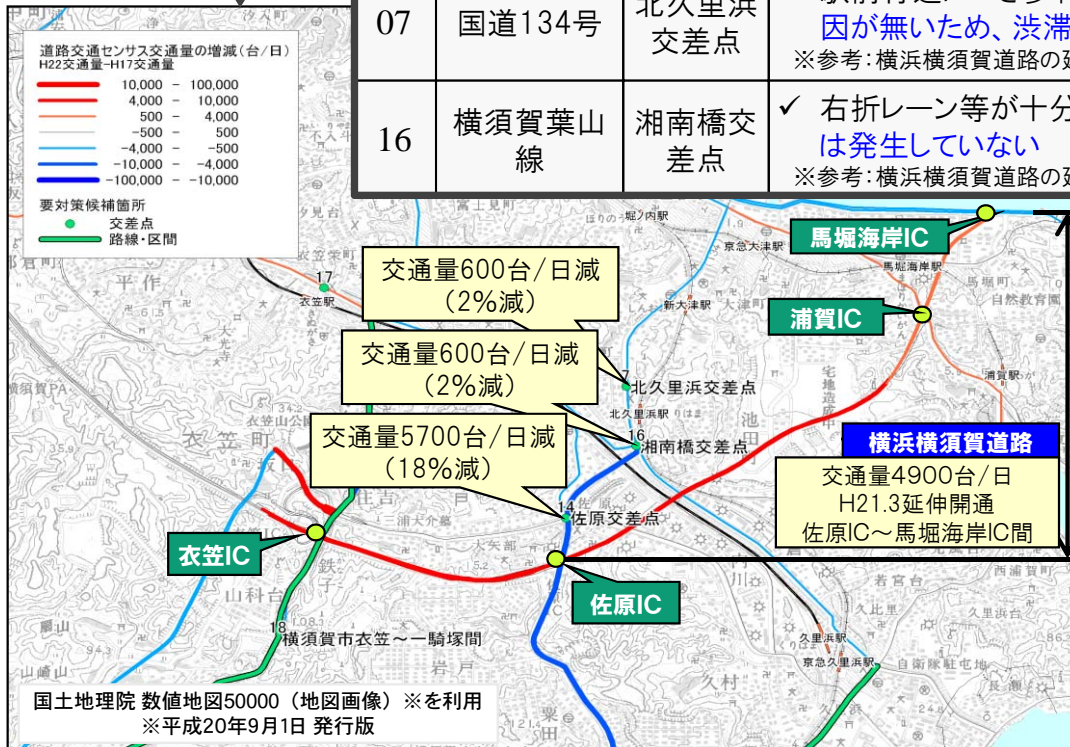
● 要対策候補箇所から削除する【審議事項】

3. 要対策候補箇所の評価結果

3-7. 道路・交通状況を踏まえたタイプ別評価（タイプD）

▶ 現調調査の結果、渋滞は確認されなかった。また、個別箇所の交通量を確認したところ、道路整備等により交通量が減少していることが確認されました。

タイプD 対策ニーズ低い 渋滞なし/低	参考事例		タイプD		
	No	路線名	区間名	交通データ・現地調査から見た阻害要因	評価結果
	25	国道1号・横浜上麻生線	西神奈川周辺	✓ 駅前のため歩行者と車両の輻輳が見られるものの、西神奈川交差点では 渋滞は発生していない ※参考:交通量の減少により交通負荷が減少(7,200台/日減、31%減)	✓ 渋滞は確認されないため、対策の必要性はない
	04	国道129号	新昭和橋付近	✓ スムーズに流れており、道路構造上の阻害要因もない ※参考:交通量の減少により交通負荷が減少(5,700台/日減、13%減)	✓ 渋滞は確認されないため、対策の必要性はない
	14	横須賀葉山線	佐原交差点	✓ 右折交通が多いものの右折レーン等が十分確保され、 阻害要因が無い ため、 渋滞は発生していない ※参考:横浜横須賀道路の延伸により、交通負荷が減少(5,700台/日減、18%減)	✓ 渋滞は確認されないため、対策の必要性はない
	07	国道134号	北久里浜交差点	✓ 駅前付近につき歩行者等や駐停車車両が多ものの、 阻害要因が無い ため、 渋滞は発生していない ※参考:横浜横須賀道路の延伸により、交通負荷が減少(600台/日減、2%減)	✓ 渋滞は確認されないため、対策の必要性はない
	16	横須賀葉山線	湘南橋交差点	✓ 右折レーン等が十分に確保され、 阻害要因が無い ため、 渋滞は発生していない ※参考:横浜横須賀道路の延伸により、交通負荷が減少(600台/日減、2%減)	



※)H17、H22道路交通センサ調査結果より

評価結果

● 渋滞は確認されず、道路利用者の意見も少ないため、対策の必要性はない

● 要対策候補箇所から削除する【審議事項】

3. 要対策候補箇所の評価結果

3-8. 要対策候補箇所の今後の取り扱い(案)

以下に、タイプB、C、Dの取り扱い方針を総括しました。

No	渋滞路線名	渋滞対策箇所・区間名	タイプ分類	対策ニーズの有無		渋滞の有無		混雑実感	
				対策の 必要性指数		混雑発生 表示頻度	渋滞確認	混雑の実感 指数	
17	横須賀葉山線	JR衣笠駅前	タイプB	1.02	12%	渋滞なし	1.11		
19	横浜鎌倉線	上大岡駅前～港南警察署		0.97	39%	渋滞なし	0.94		
15	横須賀葉山線	池上十字路交差点		0.71	24%	渋滞なし	0.81		
6	国道134号	引橋交差点～夫婦橋交差点		0.13	41%	渋滞なし	0.14		
36	中原街道	ひかりが丘交番前交差点	タイプC	-0.14	63%	渋滞なし	0.15		
28	平戸桜木道路	日ノ出町交差点		-0.30	99%	渋滞なし	0.13		
27	新川通	大島四ツ角交差点		-0.98	83%	渋滞なし	-0.44		
25	国道1号・横浜上麻生線	西神奈川周辺	タイプD	-0.05	45%	渋滞なし	0.23		
4	国道129号	新昭和橋付近		-0.19	20%	渋滞なし	-0.10		
14	横須賀葉山線	佐原交差点		-0.36	13%	渋滞なし	0.13		
7	国道134号	北久里浜交差点		-0.43	32%	渋滞なし	0.03		
16	横須賀葉山線	湘南橋交差点		-0.51	11%	渋滞なし	-0.17		

タイプB

対策ニーズ高い
×渋滞なし/低

- 渋滞が著しいわけでは無いが、移動性阻害要因対策への意見・要望(路上駐車対策・商業施設周辺の渋滞対策)を確認
- 要対策候補箇所として残し、望まれている対策の実現に向けて、今後検討が必要

タイプC

対策ニーズ低い
×渋滞あり/高

- 現地での渋滞発生状況等の確認の結果、渋滞が発生していないことを確認
- 要対策候補箇所からの削除

タイプD

対策ニーズ低い
×渋滞なし/低

- 要対策候補箇所周辺におけるネットワーク環境が変化し、交通量の減少や交通負荷の軽減によって、渋滞・対策必要性ニーズが減少
- 要対策候補箇所からの削除

【議題4】

その他の混雑指摘箇所の のスクリーニング途中経過

- 4-1. その他の混雑指摘箇所(26箇所)の概要
- 4-2. 渋滞状況の確認結果
- 4-3. 要対策候補箇所選定の視点
- 4-4. 次年度以降調査予定の混雑指摘箇所の取り扱い方針

4. その他の混雑指摘箇所のスクリーニング途中経過

4. その他の混雑指摘箇所の論点

その他混雑指摘箇所(H22アンケート結果)について

▶ 前回の審議結果を踏まえ、混雑発生表示頻度が高い、意見数が多い**26箇所の現地確認**を実施しました。

▶ **アンケート指摘数、交通データ、現地確認**の整理結果を確認していただきます。

26箇所について
現地確認と、道路管理者の意見
照会を行いました。

- 指摘意見数が多かった箇所、H22VICSデータおよびH22民間プローブデータによる混雑発生表示頻度※(交通データ)が大きかった箇所について**現地確認**を行いました。
- アンケート指摘数と、上記**結果の関係**を確認していただきます。
※)参考資料2

今後のスクリーニング方針
を整理しました。

- アンケート指摘数、交通データ、現地確認結果を踏まえ、**今後のスクリーニング継続(残り157箇所)の方針(案)**を整理しました。



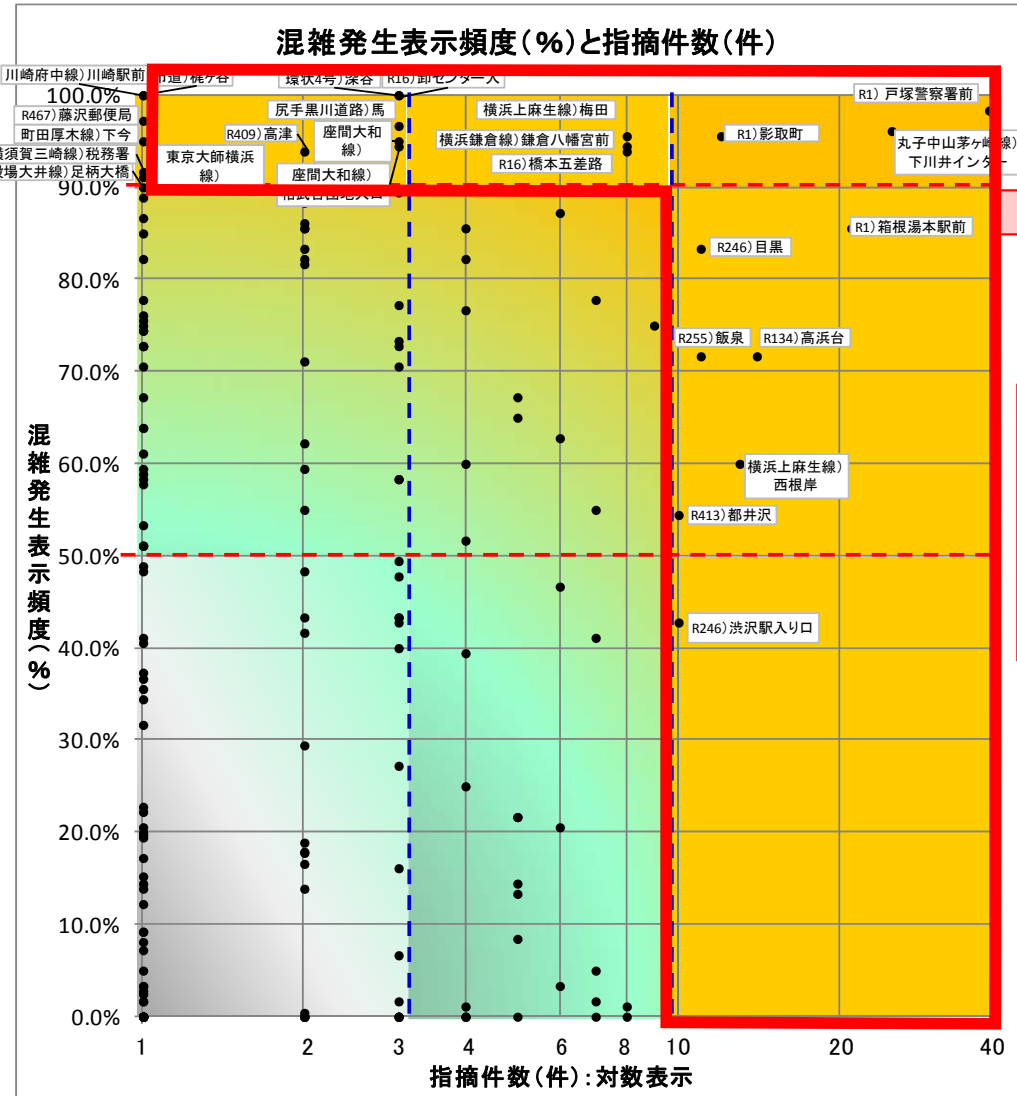
来年度以降、その他の混雑指摘箇所のスクリーニング継続方法(今後の現地確認方針)について審議していただきます。

4. その他の混雑指摘箇所のスクリーニング途中経過

4-1. その他の混雑指摘箇所の現地確認箇所(26箇所)

- ▶ 第10回委員会の審議結果を受け、その他の混雑指摘箇所183交差点のうち、26箇所の現地確認を行いました。
- ▶ 26箇所の抽出基準は、交通データから渋滞が著しい箇所(混雑発生表示頻度90%以上)または混雑指摘数が多い箇所(指摘件数10件以上)としました。

No	路線名	交差点名
1	国道1号	戸塚警察署前
2	国道1号	影取町
3	国道1号	箱根湯本駅前
4	国道16号	橋本五差路
5	国道246号(旧国道16号)	目黒
6	国道16号	卸センター入口
7	国道134号	高浜台
8	国道246号	渋沢駅入口
9	国道255号	飯泉
10	国道409号	高津
11	国道413号	都井沢
12	国道467号	藤沢郵便局前
13	県道6号東京大師横浜線	大師河原
14	県道9号川崎府中線	川崎駅前
15	県道12号横浜上麻生線	西岸根
16	県道12号横浜上麻生線	梅田橋
17	県道21号横浜鎌倉線	鎌倉八幡宮前
18	県道26号横須賀三崎線	税務署前
19	県道45号丸子中山茅ヶ崎線	下川井インター
20	県道50号座間大和線	小松原
21	県道50号座間大和線	相武台団地入口
22	県道51号町田厚木線	下今泉
23	県道78号御殿場大井線	足柄大橋東
24	環状4号	深谷
25	市道	梶ヶ谷
26	尻手黒川道路	馬絹



【現地確認】11月中旬に1~2回、交通データの混雑発生時間帯に合わせ、対象交差点の渋滞状況を“目視”確認

4. その他の混雑指摘箇所のスクリーニング途中経過

4-2. 渋滞状況の現地確認結果

優先的に調査を行った混雑指摘26箇所は、すべての箇所において、渋滞が発生していることを確認し、交通データと現地状況との整合が概ね確認できました。

箇所選定の抽出方法	基本情報			[1]交通データ		[2]アンケート	[3]現地状況
	No	路線名	交差点名	混雑発生表示頻度 H22 *1	屋間累計時間*2 平日 休日	意見数 H22	渋滞規模 H23
意見数(10件以上)、混雑発生頻度(90%以上)ともに高い	1	国道1号	戸塚警察署前	98%	649 245	38	500m未満
	19	県道45号丸子中山茅ヶ崎線	下川井インター	96%	554 224	25	500~1000m
	2	国道1号	影取町	96%	555 105	12	500~1000m
意見数(10件以上)が多い	3	国道1号	箱根湯本駅前	86%	343 345	21	500~1000m
	7	国道134号	高浜台	72%	244 170	14	1500~2000m
	15	県道12号横浜上麻生線	西岸根	60%	276 126	13	500m未満
	5	国道246号(旧国道16号)	目黒	83%	585 226	11	500m未満
	9	国道255号	飯泉	72%	276 66	11	500~1000m
	11	国道413号	都井沢	54%	184 172	10	1000~1500m
	8	国道246号	渋沢駅入口	43%	168 38	10	500~1000m
混雑発生頻度(90%以上)が高い	6	国道16号	卸センター入口	100%	706 198	3	1500~2000m
	24	環状4号	深谷	100%	705 382	3	500~1000m
	14	県道9号川崎府中線	川崎駅前	100%	718 205	1 ※	500m未満
	25	市道	梶ヶ谷	100%	707 388	1	1500~2000m
	12	国道467号	藤沢郵便局前	97%	517 206	1	500m未満
	26	尻手黒川道路	馬絹	97%	643 201	3	500~1000m
	16	県道12号横浜上麻生線	梅田橋	96%	652 184	8	500m未満
	20	県道50号座間大和線	小松原	95%	453 189	3	500m未満
	22	県道51号町田厚木線	下今泉	95%	664 256	1	1000~1500m
	17	県道21号横浜鎌倉線	鎌倉八幡宮前	94%	511 270	8	500~1000m
	21	県道50号座間大和線	相武台団地入口	94%	620 210	3	500m未満
	4	国道16号	橋本五差路	94%	518 190	8	500~1000m
	10	国道409号	高津	94%	601 169	2	500m未満
	18	県道26号横須賀三崎線	税務署前	92%	477 204	1	500m未満
13	県道6号東京大師横浜線	大師河原	91%	565 64	1	500~1000m	
23	県道78号御殿場大井線	足柄大橋東	90%	547 161	1	1000~1500m	

詳細は、参考資料2

*1) 混雑発生表示頻度[%]

*2) 屋間累計時間[分/12H]

渋滞なし ←	渋滞度合いイメージ									→ 常時渋滞
10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	
72	144	216	288	360	432	504	576	648	720	

平日のピーク時3H等や休日12Hのうち、平均速度20km以下となる時間の占める割合

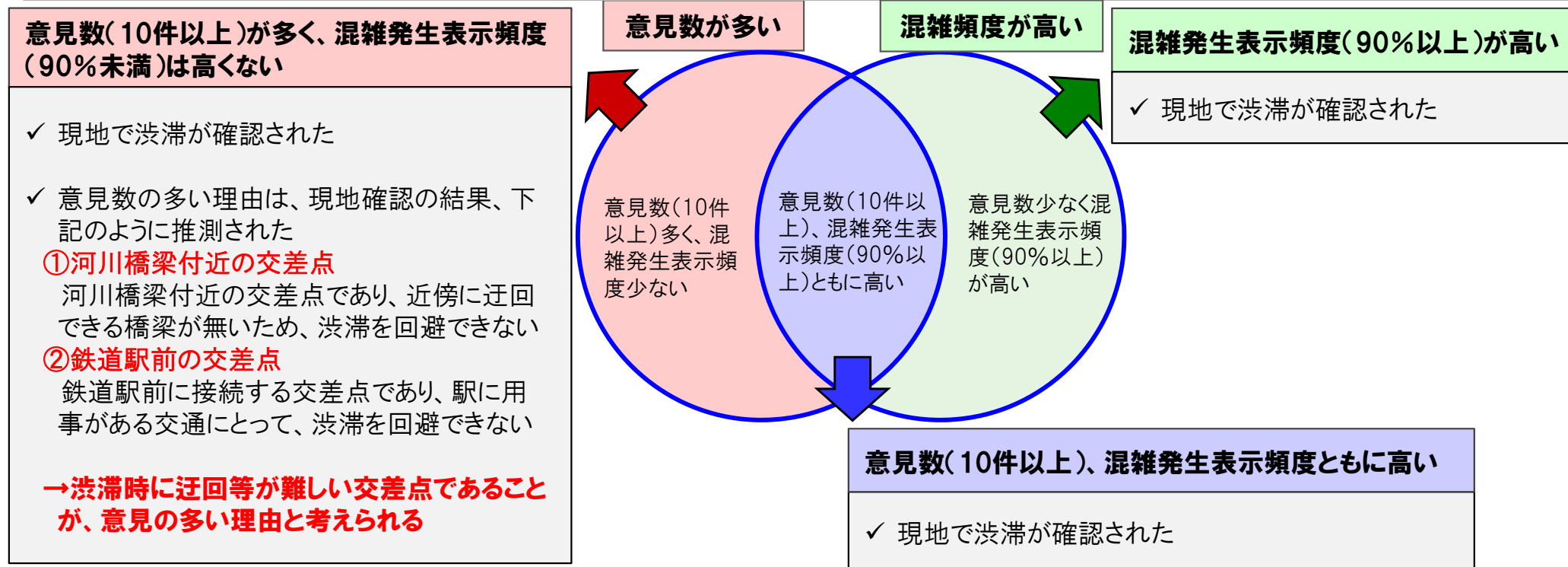
屋間12時間のうち、平均速度20km/h以下となる累計時間(分)

※川崎駅前は、平成22年度時点で駅前再編事業(H21.6~H23.3)を実施していたため、交通データが大きく評価されていると想定されます

4. その他の混雑指摘箇所のスクリーニング途中経過

4-3. 要対策候補箇所選定の視点(意見数が多い箇所の検証)

- ▶ 「混雑発生表示頻度データは高くなく、意見数が多い箇所」についてその理由を考察しました。
- ▶ 現地確認の結果、上記箇所は、河川橋梁付近の交差点や鉄道駅前の交差点であり、これらの交差点は、通勤時間帯や天候等により一時的に混雑することが想定され、それが**意見の多い理由**として推測されます。

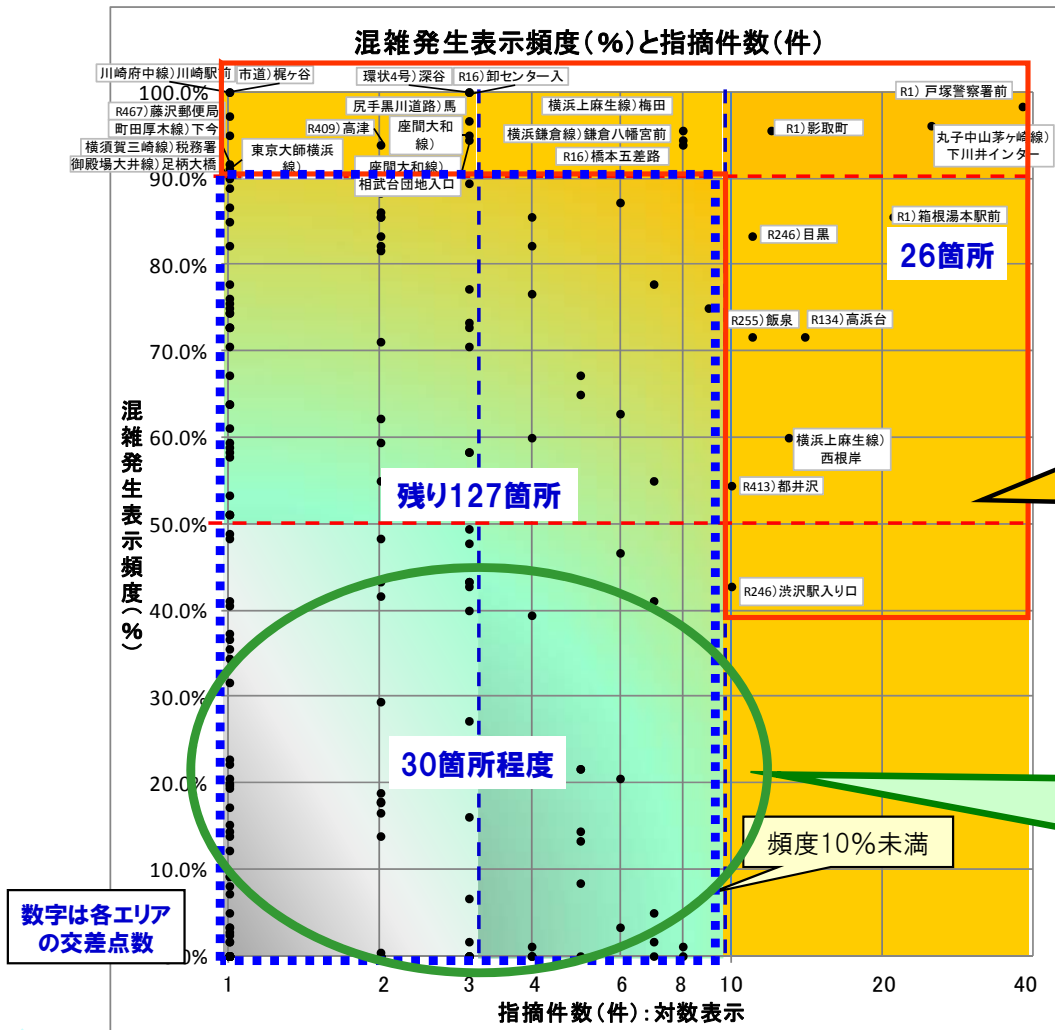


No	路線名	交差点名	意見数 H22	迂回が困難なネットワーク的要因
3	国道1号	箱根湯本駅前	21	①鉄道駅前／観光地 箱根湯本駅前（小田急線）
7	国道134号	高浜台	14	②河川橋梁付近：迂回路無 相模川で分断
15	県道12号横浜上麻生線	西岸根	13	①鉄道駅前 岸根公園駅前（横浜市営地下鉄）
5	国道246号(旧国道16号)	目黒	11	②河川橋梁付近：迂回路無 境川で分断
9	国道255号	飯泉	11	②河川橋梁付近：迂回路無 酒匂川で分断
11	国道413号	都井沢	10	②河川橋梁付近：迂回路無 城山ダム湖・相模川で分断
8	国道246号	渋沢駅入口	10	①鉄道駅前 渋沢駅前（小田急線）

4. その他の混雑指摘箇所へのスクリーニング途中経過

4-4. 次年度以降の「その他混雑指摘箇所」の検証方針(案)

- ▶ 今年度、交通データの混雑発生表示頻度の**高い箇所**での現地状況の整合性が確認されたため、次年度は混雑発生表示頻度が**低い箇所**(30箇所程度)の現地確認を行うことで、**データの信頼性や意見の多い理由を確認**します。
- ▶ **次年度の現地確認結果をもとに、「要対策候補箇所への選定」について審議**していただきたいと考えます。



次年度の検証方針(案)

渋滞による社会的影響を考慮し、「**日常的に発生する渋滞程度や規模**」を検証し、著しい渋滞箇所を要対策候補箇所に追加

今年度 現地確認完了

混雑発生表示頻度が高い・指摘数が多い
26箇所

現在の要対策候補箇所と渋滞程度との比較を行い、要対策候補箇所への追加を検討

次年度 現地確認

混雑発生表示頻度が低い箇所や指摘数が多い箇所について確認
(30箇所程度を確認)

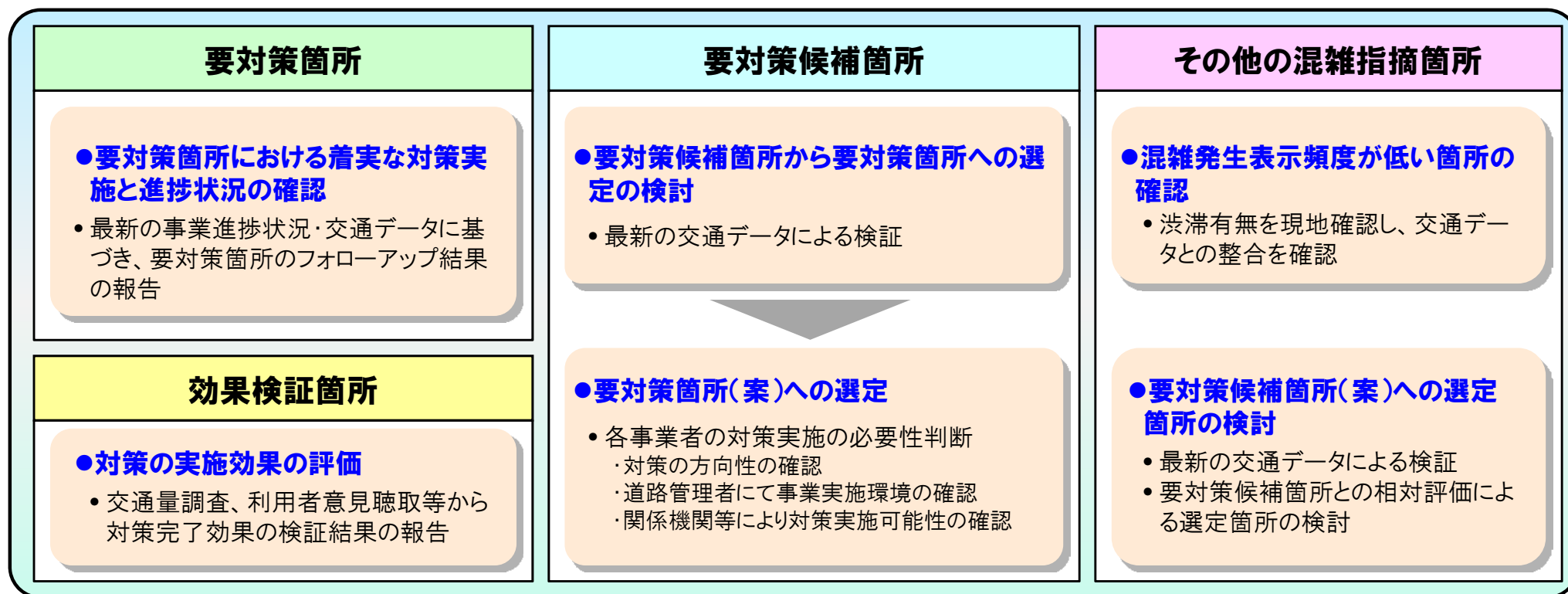
渋滞頻度が低い箇所での**渋滞有無を現地で確認**し、交通データとの整合を確認

127箇所の確認方法の検証

5. 今後の取り組みについて

5-1. 今年度の実施内容と今後の取り組みについて

第11回 移動性向上委員会(本日)



次回 第12回 移動性向上委員会(平成24年度)

- ・要対策箇所、要対策候補箇所のフォローアップ
- ・その他の混雑指摘箇所のうち、要対策候補箇所への選定箇所の検討